シモジマ加工紙(株)
田沼配送センター



所 在 地:栃木県佐野市多田町204 敷地面積:91,430.24㎡ 構造·規模:鉄骨造 延床面積:18,193㎡ 施 工:電気/昭和電機(株) 施工期間:平成21年8月~11月

ペーパーバッグ、ラッピング関連品などの取扱商品の発送業務を行うシモジマ加工紙(株)田沼配送センター。 照明設備更新で鏡面反射笠を使用した高天井用エネカット105を採用し、 初期照度補正制御により電力使用量の削減にも貢献しています。

1日平均約200トンの商品発送を行う商品配送センター

シモジマ加工紙(株)は、大正9年に包装材 料卸問屋として創業した東証1部上場の(株) シモジマの子会社。この田沼配送センターは 物流を主体とする事業所で、紙袋、ポリ袋、 ラッピング関連品などの商品在庫を管理し、 1日平均約200トンの商品を発送しています。 同センターは商品管理の合理化、さらに配送 業務の効率化を重視した事業拠点として昭和 63年5月に開設されました。同センターは、第 ーセンター、第二センター、自動倉庫、移動棚 倉庫の4棟からなり、開設から20年が経過し、 老朽化してきた第一センターの照明器具の設 備更新で、FHP105W1灯用照明器具「エネカッ ト105」と反射笠の組み合わせが採用されまし た。床上6.6mの高さに設置された「エネカッ ト105」は、従来の水銀灯器具よりも明るくなっ たと好評を得ています。

「エネカット105」の更新により、更新前 比60%以上の省エネを図りながら、従 来と同等以上の明るさを確保

今回、照明設備を更新した第一センターの 天井高さは平均9m。電動フォークリフトによ る商品の出入庫業務が行われるセンター内で は、フォークリフトのリフトアップ時に接触し ないよう、エネカット105高天井用反射笠器具 は、メッセンジャーワイヤーを使用して、器具 取付高さを6.6mに設定し、7mピッチで設置 されています。

「エネカット105」は、従来使用していた400W水銀灯と同等以上の明るさを確保しながら、ランプ交換時の余分な明るさを自動補正(カット)し、一定の明るさに保って省エネを図る初期照度補正制御により、更新前比の消費電力量約60%以上が削減され、CO2も大幅に削減されています。

また従来の水銀灯はスイッチを入れてから明るさが安定するまで時間がかかり、作業着手までのロスが出ていましたが、「エネカット105」に更新したことにより、この点も解消されたほか、18,000時間の長寿命でランプ交換の手間も大幅に軽減できるため、省メンテ・省コスト化も期待されています。



従来の水銀灯と同等以上の明るさを得られるエネカット105高天井用反射笠器具



出荷商品の接触による照明器具の破損を防止するガードを組み合わせた



通路は床上6.6mの「エネカット105」 で十分な明るさを得られる



「エネカット105」による十分な明るさで軒下の安全性を確保



エネカット105高天井用反射笠器具

主な照明器具一覧				
設置場所	器 具 名	形 名	台 数	ランプ
屋内	直付形笠なし(トラフ)器具	FHT-41007N-PM9	51	32WHf蛍光ランプ
	組合せ器具(反射笠器具)	FHT-41107NK-PM9	58	32WHf蛍光ランプ
	直付形笠付(反射笠)器具	FHT-42107NK-PM9	37	32WHf蛍光ランプ×2
	エネカット105高天井用反射笠器具(鏡面反射笠付)	FHT-92120SK-PRJ	83	105WHfコンパクト形蛍光ランプ×2
軒下	エネカット105高天井用反射笠器具(鏡面反射笠付)	FHT-92120SK-PRJ	55	105WHfコンパクト形蛍光ランプ×2